

國學院大學學術情報リポジトリ

初級日本語教科書6種の多義語の頻度調査

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 柳, 悟聖, Yoooh, Sung メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00000363

初級日本語教科書6種の多義語の 頻度調査

柳 悟聖

1. はじめに

日本語教育において、学習者の日本語能力を判断する基準の一つとしては、どれだけ語彙力を身につけているかが重要である。学習者の語彙力は、どのくらい多くの語彙を覚えているかという既習語の数（広さ）にとどまるのではなく、それらの語がもっている意味・用法をどのくらい理解（深さ）しているのかも重要であると言える。しかし、日本語学習者にとって、多義語の典型的（中心義）な意味・用法は学習の早い段階から習得しているようだが、派生義の意味・用法や使い分けにおいてはその一般化能力や差異化能力が不十分であることが指摘されている（柳：2015）。また、『日本語多義語学習辞典動詞編』（2012.2）は学習者の多義語習得について「とりわけ基本語彙は数多くの語義が辞書に掲載されており、学習者は中心義のみを覚えてその他の派生義は一向に覚えられない、母語の対応語が有する語義は覚えるが、そうでない語義は覚えられない、教えられた語義は覚えるが、その他の語義は覚えられないなどといった困難を感じてきました。さらにその語が持っている文化的な背景知識などについてはほとんど学ばれることなく置き去りにされていました。」と述べている。さらに、鷺見（2015）は、日本語教育において、多義性の高い基本的な和語動詞は初級語彙として導入されるが、多義語のどの語義を学習すべきかについての指針となるものがない状況であり、教科書や教師による「一部の語義の場当たりの導入」にとどまっている可能性が高いと指摘している。

このように、日本語教育において、多義語そのものに対してはある程度認識されているものの、多義語の指導が実際にどのように行われているかは明確ではないため、その手がかりとして日本語教科書を分析する必要があると考えられる。そこで、本研究では現行日本語教科書における多義語がどのように扱われているか、多義的な意味をもつ語を動詞に絞って調査を行った。以下の点を明らかにすることを目的とする。

- ・各初級日本語教科書にみられる多義語には、どのようなものが存在しているのか。
- ・各初級日本語教科書にみられる多義語の典型的な語義とは何か。
- ・各初級日本語教科書にみられる多義項目の提出順序と共通度はどうであろうか。
- ・多義語の学習や指導に役に立つ多義語動詞のリストを示唆すること。

2. 多義語に関する語彙調査

2.1 語彙調査における多義語の扱い

日本語教育における多義語の研究は認知、心理、意味、対照、構造、文化などといった様々な分野で盛んに行われてきたが、学習の指導面からみると、その数はごく一部に過ぎない。特に、日本語教科書の語彙調査を行っている研究のほとんどは、多義語を考慮していないものが多い。以下は、日本語教科書の語彙調査において、多義語を考慮しているものである。

近藤(1996)は、日本語教育における多義語の指導がどのように行われているかを知る手がかりとして14種の初級・中級日本語教科書を調査している。その結果、92語の多義語動詞がみられ、そのうち23語は5つ以上の異なる多義項目がみられたと述べている。さらに、初級教科書から中級教科書にかけての多義項目の広がりについて、初級段階では主に生活言語が取り上げられているのに対し、中級段階になると、政治・経済・歴史や自然科学など読解教材としてその内容が幅広い領域に及んだため、それに応じて多義性動詞の多義項目も各教科書ごとに変化に富んだものになっていると指摘している。

早津他(2010)は、東京外国語大学留学生日本語教育センターによって1994年に刊行された教材『初級日本語(新装版)』を対象に、提示されている動詞のすべてについて、単語の語彙的な意味、体系、語構成、語種、単語の文体・位相、敬語、慣用的な表現などを語彙論的な観点から分析を行っている。そのうち、本動詞の異なり語数334語が『分類語彙表』でどのように分類されているかを調査し、多義動詞46語について、以下のように述べている。

多義的な動詞の多くは日常生活の中での使用頻度が高い単語である。これは、言語使用の経済性と関係があると思われる。しかし、日本語を学習する者にとっては、多義的な動詞の意味をいちいち覚えるのはむずかしく、覚えたとしても適切に使えなくて混乱する場合がある。そのために、教師は多義語を教える際に、意味が異なる適切な例をあげて、違いを分かりやすく説明する必要があると思われる。「一つの動詞は意味が一つのみであると限らない」ということに注意し、学習の早い段階から単語の多義性に気づかせ、興味を

もたせることによって、学習者が正しく使いこなせるように指導する必要があるだろう。また、基本義ではなく、派生義のみが提出されている場合もあるが、教師が教える際に、適宜、基本義を導入してもよいのであろう。(58-59)

柳(2016)は、韓国の中高等教育機関で使われている日本語教科書、特に2007年改訂教育課程に基づいて編纂された改定版教科書『日本語Ⅰ』を取り上げ、最も優先的に習得されると考えられる多義語の意味・用法を動詞に絞り、その多義語動詞が日本語教科書『日本語Ⅰ』6種においてどのように扱われているか比較分析を行っている。その結果のうち、中心義と派生義の関係において、中心義が派生義よりも早い段階で出現する可能性は低く、場面シラバスや機能シラバスに応じた形で多義項目が主に扱われていると指摘し、また、決まり文句や慣用表現などの性質が強い多義語動詞の場合、その出現順序が優先される傾向もみられると述べている。

以上のように、従来行われてきた多義語の語彙調査から分かるのは、1) 初級日本語教科書において多義語の数が散在していること、2) 多義語の多くは日常生活において深く関与していること、3) 多義語の指導方法において指針となるものがないため、それらの習得は学習者にとって混乱のもとであることなどである。

2.2 『日本語能力試験出題基準』における多義語の扱い

旧日本語能力試験の出題基準において多義的な意味・用法をもつ動詞がどのように扱われているかを確認するために、多義性の高い基本動詞「あう」「あがる」「おとす」「おりる」「かかる」「だす」「ひく」を取り上げてみると、「3・4級語彙表」と「1・2級語彙表」に以下のように記載されている。

<4級語彙表>	<3級語彙表>	<1・2級語彙表>
あう(会う)	*あう(会う)	*あう(合・会・遭)
おりる(降りる)	あう(合う)	*あがる(上)
かかる「時間がかかる」	あう「間に合う」	*おとす(落)
だす(出す)	あがる(あがる)	*おりる(下・降)
ひく(引く)	おとす(落とす)	*かかる(掛・罹)
ひく(弾く)	*おりる(降りる)	*だす(出)
	おりる(下りる)	*～だす
	*かかる「時間がかかる」	*ひく(引)
	*だす(出す)	*ひく(弾)
	*ひく(引く)	*ひく(轆)
	*ひく(弾く)	

()内は漢字表記

*印は4級語彙 ()内は漢字表記 「 」内は用例

*印は2級語彙 ()内は漢字表記

4級語彙表に該当する見出し語「あう」「おりる」が3級語彙表に含まれると新しい意味・用法をもつ同音異義語の見出し語は別に扱われているが、1・2級語彙表に進むとそれぞれの同音異義語は一まとまりの語として統合され、それぞれの語義を包括的に理解することは困難であると考えられる。さらに、別見出し語として扱われていても多義性が高い語であるほど、どのような意味・用法に当たるものであるかは不明確である。例えば、4級語彙表である「かかる」は費用・労力・時間などを要するという意味・用法（「時間がかかる」）として扱われているが、他の派生義にはどのようなものがあるか（「迷惑がかかる」「エンジンがかかる」「電圧がかかる」など）、または派生義の元になる中心義は何か（「壁に絵がかかっている」「ドアに鍵がかかっている」など）などは、出題基準の語彙表からは読み取れないため、学習者および日本語教師にとっては語の理解を深めて運用することは容易でないことが分かる。一方、オンラインツールである『基本動詞ハンドブック』は、国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均等コーパス (BCCWJ)」や筑波大学の「筑波ウェブコーパス」などの日本語コーパスを活用し、多義性の高い基本動詞の語義解説やそれぞれの語義が中心義からどのように派生しているかを分かりやすくネットワーク図で示している。特に、国語辞典などに比べて、語義の豊富な用例やコロケーションなどの情報を素早く手に入れることが可能であり、さらに日本語を学習する者や教える者にとって各語義がどの程度のレベルであるかを一目で確認できるという点で興味深い。

3. 調査資料と分析方法

3.1 日本語教科書

本研究で調査資料とした日本語教科書は、以下の6機関で作成された6種である。

【表1】日本語教科書『日本語I』の一覧

教科書名	機関	出版年	課数	シラバス
みんなの日本語初級I第2版	スリーエーネットワーク	1998	25	構造シラバス
文化初級日本語Iテキスト改訂版	文化外国語専門学校	2000	18	構造シラバス
初級日本語上新装改訂版	東京外国語大学留学生日本語教育センター	1995	15	構造シラバス
はじめよう日本語初級1 メインテキスト改訂版	TIJ東京日本語研修所	2006	12	場面シラバス
まるごと日本のことばと文化 初級1A2かつどう	国際交流基金	2014	18	場面シラバス

A NEW APPROACH TO ELEMENTARY JAPANESE VOL.1	くろしお出版	2012	12	場面シラバス
---	--------	------	----	--------

上記6種の日本語教科書『みんなの日本語初級』(以下、Aと略す)、『文化初級日本語』(以下、Bと略す)、『初級日本語』(以下、Cと略す)、『はじめよう日本語初級』(以下、Dと略す)、『まるごと日本のことばと文化』(以下、Eと略す)、『A NEW APPROACH TO ELEMENTARY JAPANESE』(以下、Fと略す)は、いずれも初級段階の初級Ⅰと初級Ⅱで構成されている総合教科書である。これらの選定に当たっては、現行日本語教科書のほとんどが複合シラバスであることから、各シラバスに該当する教科書を明確に分けることは難しいことであろうが、構造シラバスや場面・話題シラバスを基本として取り入れている教科書を各3冊ずつ選び、多義語の意味・用法がどのように異なっているかを比較するため、6種の教科書を選んだ。さらに、構造シラバスをベースとした『みんな』、『文化』、『はじめ』などは日本の国内でシェア率⁽¹⁾が高いものであること、特に『みんな』は初級の学習者を教える際に一番教えやすい教科書⁽²⁾として評価されているため、多義語の情報量を得るには6冊で十分であると考えられる。

3.2 分析方法

分析方法については、柳(2016)と同様に日本語教科書をデータベース化する作業を行い、秀丸エディタで正規表現⁽³⁾を使って検索する方法を手順とした。以下は、日本語教科書のデータベース化の例である。

【表2】テキスト・データベース化の例⁽⁴⁾

2014R/J/A/11/091@会話
2014R/J/A/11/091@これ、お願いします
2014R/J/A/11/091@管理人：いい 天気ですね。お出かけですか。
2014R/J/A/11/091@ワン：ええ、ちょっと 郵便局まで。
2014R/J/A/11/091@管理人：そうですか。行ってらっしゃい。
2014R/J/A/11/091@ワン：行って きます。
2014R/J/A/11/091@ワン：これ、オーストラリアまで お願いします。
2014R/J/A/11/091@郵便局員：はい。船便ですか、航空便ですか。
2014R/J/A/11/091@ワン：航空便は いくらですか。

一方、本研究でいう多義語とは、「1つの音形に、互いに関連のある2つ以上の意味が結びついている語を「多義語」という。語は、長いあいだ人々のあいだで使用されているうちに意味が変化し、新しい意味がつけ加わる。そのため、使用頻度の高い基本的な語彙は、そのほとんどが多義語となっている。」(日本語教

育学会：2005,271-272) といった定義に従うものである。例えば、1)「木に登る/山に上る/田が昇る」のように共起する語との関係から意味を捉える方法、2)「食べている/連れて行く/置いておく」のように補助的に使われる用法、3)「日本語について/成長するに従って」のように複合助詞の要素として使われる用法などを多義語として捉えて扱うこととする。その他、多義語の意味・用法に対しては森山(2012)の『日本語多義語学習辞典 動詞編』と『大辞林 第3版』の記述を援用し、その意味区分に該当するものが日本語教科書6種において複数であれば多義性のある語として取り扱うことにする。また、分析対象とする動詞の区分においては敬語動詞と複合動詞は取り除き、本動詞のみに限った。

4. 調査結果と考察

4.1 多義語動詞の扱いと多義項目の共通度について

初級日本語教科書6種に含まれているすべての日本語表現を対象に本動詞のみの検索を行い、すべての動詞を抽出した。その結果、6種における本動詞の異なり語数は208語(延べ語数18,003語)の内、多義的意味・用法が複数みられた多義語動詞は66語(延べ語数12,777語)であり、それに対する多義項目は211項目であった。その結果を【表3】に示す。

【表3】6種における多義語動詞の扱い状況

仮名	漢字	多義項目	意味区分	共通度	延べ語数	仮名	漢字	多義項目	意味区分	共通度	延べ語数
アル	有る	7	*11	6	1304	ヤスム	休む	3	5	6	112
イウ	言う	7	◎13	6	408	ワスレル	忘れる	3	5	3	17
スル	為る	7	*9	6	2445	イル	●要る	◎2	*6	4	18
ダス	出す	7	29	5	43	ウケル	受ける	2	12	3	7
デル	出る	7	30	6	85	ウゴク	動く	2	7	3	10
ナル	●成る	6	*11	6	455	ウツ	●打つ	2	24	3	22
キク	●聞く	5	7	6	404	ウマレル	生まれる	2	3	3	16
クル	来る	5	18	6	494	オシエル	教える	2	4	6	87
ツクル	作る	5	11	6	181	オモウ	思う	2	8	6	340
ハイル	入る	5	22	6	126	オリル	降りる	2	10	4	33
ミル	見る	5	15	6	611	オロス	●下ろす	2	14	2	14
モツ	持つ	5	15	6	209	カエル	●変える	2	6	2	8
アゲル	上げる	4	25	5	117	カケル	●掛ける	2	*19	3	59
イク	●行く	4	14	6	1642	キル	切る	2	25	4	58
オクル	●送る	4	10	5	67	クレル	呉れる	2	3	3	75
シル	知る	4	◎8	6	100	コタエル	●答える	2	6	3	30
タツ	●立つ	◎4	28	5	37	シメル	●絞める	2	11	4	36

ツカウ	使う	4	7	6	148	スウ	吸う	2	5	5	65
トル	取る	4	*10	6	161	スク	●空く	2	7	3	10
ヒク	●引く	4	28	5	57	ススメル	●勤める	2	8	3	7
ワカル	分かる	4	◎6	6	205	タテル	●立てる	2	14	2	2
アウ	●会う	3	16	6	116	タノム	頼む	2	7	3	6
アケル	開ける	3	14	6	47	ツク	●着く	2	*20	5	37
イル	居る	3	11	6	1369	トメル	●止める	2	10	4	33
イレル	入れる	3	*11	6	62	ナク	●泣く	2	5	1	2
オワル	終わる	3	6	5	68	ナクナル	●無くなる	2	4	1	5
カンガエル	考える	3	8	3	20	ニル	似る	2	3	1	13
チガウ	違う	3	7	4	28	ハク	●履く	2	6	4	22
ツケル	●付ける	3	*14	6	57	ハジマル	始まる	2	4	3	39
デキル	出来る	3	9	6	191	ハシル	走る	2	12	3	14
トマル	●止まる	3	14	4	21	マツ	待つ	2	4	6	69
ナレル	●慣れる	3	9	2	53	ヨブ	呼ぶ	2	6	3	36
モラウ	貰う	3	10	5	142	ワル	割る	2	10	1	2

意味区分は基本的に『大辞林』の意味区分に従う。
 ただし、◎は『基本動詞ハンドブック』の意味区分に従う。
 ● 『大辞林』で同音異義語として分けているもの
 ○ 慣用表現が含まれているもの
 * 『大辞林』で意味区分がさらに細かく分かれるもの

【表3】は日本語教科書6種において多義項目が最も多かった順で本動詞を並べており、本動詞の共通度や延べ語数を示したものである。旧日本語能力試験の出題基準に提示されている3・4級語彙表と多義語動詞66語を照合してみると、3・4級語彙の動詞235語⁽⁵⁾に該当する多義語動詞は63語⁽⁶⁾であり、3・4級語彙の約3割が多義の意味・用法として日本語教科書6種で扱われている。一方、本動詞「アル/イウ/スル/ダス/デル」は多義語動詞66語の中でも最も多義項目が多かったものである。それに続き、多義項目が6つであったものは1語「ナル」であり、「キク/クル/ツクル/ハイル/ミル/モツ」が5つ、「アゲル/イク/オクル/シル/タツ/ツカウ/トル/ヒク/ワカル」4つである。その他、14語が多義項目3つ、31語がその下位を占めている。その内、移動動詞である「ダス」と「デル」の多義項目が日本語教科書でどのように扱われているのかを取り上げてみると、以下のようなものである。

<ダス>

1. CDをどうやって出しますか [中にあったものを外へ、または、人に見える所に、移す]

<レベル>⁽⁷⁾

★ ★ ★

2014R/J/A/25/220

2. 窓から手や顔を出さないでください [外の方へ出っばらせる・突き出す]

★ ★

2000R/J/B/16/186

- 3. じゃあ痛みどめの薬を出しますね [客などに, 飲食物や金品を供する・与える] ★★
2000R/J/B/16/184
- 4. もうレポートを出しましたか [物をしかるべき所に渡す・差し出す・提出する] ★★
2014R/J/A/16/137
- 5. お母さんにてがみをだしますか [手紙・小包などを発信・発送する] ★★
2010R/J/C/08/087
- * 6. 水を出してください [ものや機械などの中や表面からものが現れる] ★★
2012/J/F/10/138
- 7. 宿題を出します [命令・依頼などの指示・働きかけを行う] ★★
2012/J/F/11/146

* 『大辞林』の意味分けの区分には提示されていない語義である。

初級 ★★★
 中級 ★★
 上級 ★

<デル>

<レベル>

- 1. 会議室を出るとき [内側から外へ, または人からよく見える所へ移動する] ★★★
2014R/J/A/23/196
- 2. 国を出て [主要な居所としていたところを離れて別の場所へ行く] ★★★
2010R/J/C/15/174
- 3. 2年まえに大学を出ました [それまで社会的に所属していたところから去る] ★★
2014R/J/A/18/159
- 4. この俳優が (映画に) 出る [多くの人々が見たり聞いたりするものの中に登場する] ★★
2000R/J/B/18/210
- 5. 会議に出なければなりません [集まりなどに出席・参加する] ★★
2012/J/F/11/149
- 6. おゆはです [物が移動して中から外, または人の目に見える所に現れる] ★★★
2014/J/E/13/108
- 7. 663号は午後2時26分に東京駅を出て [乗り物が発券する・または運行される] ★★★
2000R/J/B/10/120

() 内は筆者による補足

『大辞林』の記述による多義語動詞「ダス」の意味区分は29項目、「デル」は30項目あり、その中、日本語教科書6種に扱われているのが7項目であることから、そのほぼ2割が初級段階の教科書で扱われていること、及び、初級段階であるにも関わらず中級レベルの多義項目が初級教科書でかなり取り上げられていることが分かる。このような点からみれば、幅の広い多義語の意味・用法が初級段階で散見していることや指導する際のレベルの適合性に問題があると考えられる。

なお、それぞれの教科書に扱われている多義語動詞と多義項目については、6

種全体の比率から多義語動詞が33%から56%、多義項目が27%から51%を占めている。図1は各教科書にみられる本動詞、多義語動詞、多義項目数を示しており、AからCまでが構造シラバスをベースとした教科書、DからFまでが場面シラバスをベースとした教科書である。場面シラバスをベースとした教科書に比べ、構造シラバスをベースとした教科書の方が多様な語義を幅広く取り上げているが、B教科書においてはその数が少なくなっている。それは、数多い語義を初級段階で導入して学習の情報量をあげるというよりも実際の運用場面において使用頻度の高い語彙をなるべく取り入れようとする傾向があるためと考えられる。それに対し、場面シラバスをベースとしたD教科書はE教科書とF教科書に比べて高い頻度を示しているが、これは日常生活の上で遭遇するさまざまな場面⁽⁸⁾を他教科書よりも多く扱っていることが要因である。

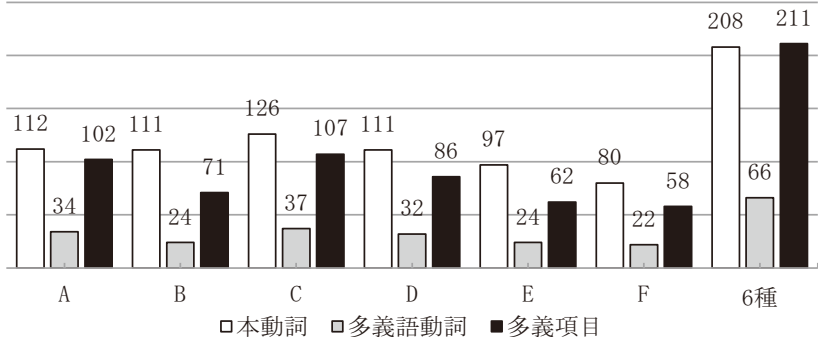


図1 各教科書の多義語動詞と多義項目

続いて、多義語動詞66語にみられる多義項目の共通度を【表4】に示すと、6種教科書に共通して提示されている多義項目は全体の多義項目数211項目の内30項目であり、「アウ/アル/イウ/イク/イル/オシエル/オモウ/キク/クル/スル/ツカウ/ツクル/トル/ハイル/ミル/マツ/モツ/ワカル」に含まれる語義である。これらの多義語動詞に含まれる語義がどの教科書においても提示されていることから分かるように、初級レベルにおいては行為動詞「スル/ツカウ/ツクル/トル/マツ/モツ/アウ」をはじめ、状態動詞「アル/イル」、知覚動詞「キク/ミル」、伝達動詞「イウ/オシエル」、移動動詞「イク/クル/ハイル」、思考動詞「オモウ/ワカル」などの語義が学習にとって最も習得しやすい項目であると考えられる。さらにそれぞれの語義を中心義と派生義に分けると、10項目（アル/イク/イル/オシエル/オモウ/クル/スル/ツクル/マツ/ワカル）が中心義であり、20項目（アウ/アル/イウ/イク/イル/キク/クル/スル/ツカウ/トル/ハイル/ミル/モツ/ワカル）が派生義である。特に派生義においては、ある動作・状態のテンスやアスペクト

を表す語法「イク:カメラを持って行きます (2014R/J/A/25/221)」「イル:電話をかけています (2014R/J/A/14/118)」「クル:かばんを持ってきてください (2012/J/F/10/138)」や敬語を表す語法「スル:おじゃまします (2010R/J/C/17/197)」などが頻繁に提示されている。

【表4】多義項目の共通度

教科書	共通多義項目数	累積	異なり語数	中心義	派生義
6種	30項目 (14.2%)	30項目 (14.2%)	18語	10項目 (語)	20項目 (14語)
5種	22項目 (10.4%)	52項目 (24.6%)	18語	9項目 (語)	13項目 (10語)
4種	14項目 (6.6%)	66項目 (31.3%)	11語	3項目 (語)	11項目 (9語)
3種	32項目 (15.2%)	98項目 (46.4%)	27語	9項目 (語)	23項目 (20語)
2種	47項目 (22.3%)	145項目 (68.7%)	32語	12項目 (語)	35項目 (27語)
1種	66項目 (31.3%)	211項目 (100%)	42語	11項目 (語)	55項目 (38語)
合計	211項目 (100%)	—	—	54項目 (語)	157項目 (66語)

4.2 初級教科書にみられる典型的な語義

初級教科書において複数の語義をもつ多義語はその意味・用法がどのような全体像から構成されていて、どのような関連性で語義が展開されているかを明確に示していないのが現状である。そのため、日本語学習者はある語義のみを必死に覚えてその他の語義は見逃してしまうおそれがある。また、教育現場で実際に日本語を教えている教員側にとっても、複雑な多義語の意味・用法をどのように教えればいいのかは様々な悩みの内の一つであろう。最も効率よく多義語の学習を進めていくことを可能にするためには、現代日本社会では使われなくなった意味・用法⁹⁾や時代の変化に伴った文化的な背景などを考慮し、学習者にとってニーズの高い素材を取り入れた教材・教具を開発することである。そのためには、まず現行日本語教科書における多義語の典型的な語義は何かを分析し、その語義が中心義であるか、もしくは拡張された派生義であるかを見通すことが必要であり、さらに日本語を学習する者の観点から日常生活上で使われる語義の使用頻度やその共起関係(コロケーション)なども考慮すべきである。以下は、日本語教科書6種にみられる多義語動詞66語の内、多義項目が多かった上位10語の意味・用法対照リストである。

【表5】意味・用法対照リスト

*多義項目の中心義

多義動詞	意味・用法	延べ語数 ¹⁾	A	B	C	D	E	F	教科書の用例
アル	*物が存在する	602	170	60	106	196	32	38	大学の近くに小さいイタリアンの店があります (2012/J/F/05/072)

アル	所有している	221	108	28	18	48	18	1	わたしはおかねがあります (2014R/J/A/09/076)
	数量を表す	8	5	0	1	0	0	2	授業は週に12コマあります (2012/J/F/12/152)
	動作・現象が実現する	94	27	9	15	38	1	4	会議があります (2012/J/F/04/052)
	経験する	122	55	15	0	0	20	32	日本酒を飲んだことがあります (2012/J/F/09/123)
	指定の意味を表す	101	43	16	24	14	0	4	学生ではありません (2012/J/F/05/080)
	性質をもっている	97	32	44	4	10	0	7	紅茶はあまり好きではありません (2012/J/F/03/033)
イウ	*声や音を発する	0	0	0	0	0	0	0	—
	人が物事のある名前で呼ぶ	27	0	0	27	0	0	0	私はシンガポールから来たタンといいます (2010R/J/C/13/145)
	人がある物事を別の名前で呼ぶ	4	2	0	2	0	0	0	日本語で何と言いますか (2010R/J/C/12/140)
	人がことばを発する	35	20	1	5	6	2	1	先生すみませんもう一度言ってください (2000R/J/B/09/108)
	人がある内容をことばで伝える	80	22	6	21	18	13	0	田中さんが駅の南口においしい店があると言っていましたよ (2000R/J/B/18/211)
	人が命令や依頼をことばで伝える	54	0	54	0	0	0	0	絵を見て例のように言いましょ (2000R/J/B/04/051)
	人がある種の内容をことばで伝える	103	3	6	3	81	10	0	食べてコメントを言いましょ (2014/J/E/12/101)
	誰かの伝えたことばが広く伝えられる	3	0	0	0	0	2	1	きょうはやすみですといういみですよ (2014/J/E/09/078)
スル	*「…(を)する」の形で	2073	481	250	285	552	270	235	みんなで食事します (2014R/J/A/25/227)
	「…を…にする」 「…を…とする」 の形で	4	0	2	1	1	0	0	氷をわって半分にしました (2010R/J/C/15/173)
	状態の表現	12	0	0	10	0	2	0	体をじょうぶにしなければならぬ (2010R/J/C/15/168)
	決定の表現	8	0	0	1	0	7	0	ええ、いいですよ。何時にしますか (2010R/J/C/17/190)
	知覚の表現	6	0	2	0	4	0	0	朝から頭が痛くて寒気がするんですが (2006R/J/D/12/210)

スル	副詞を伴う表現	4	0	1	0	3	0	0	今はうちでのんびりしていますよ (2006R/J/D/09/149)
	補助動詞 ²	205	87	23	23	27	35	10	おじゃましました (2010R/J/C/17/197)
ダス	*内から外に移動させる	9	2	0	7	0	0	0	れいぞうこからビールをださないでください (2010R/J/C/12/137)
	体の一部を前に移動させる	1	0	1	0	0	0	0	窓から手や顔を出さないでください (2000R/J/B/16/186)
	客などに飲食物や金品を供する	2	0	2	0	0	0	0	じゃあ痛みどめの薬を出しますね (2000R/J/B/16/184)
	提出する	14	11	3	0	0	0	0	もう宿題を出しましたか (2000R/J/B/11/136)
	発送する	10	1	0	8	1	0	0	お母さんにてがみをだしますか (2010R/J/C/08/087)
	命令・指示などを与える	2	0	0	0	1	0	1	クイズを出しましょう (2006R/J/D/11/193)
	ものや機械などの中や表面からものが現れる	3	0	0	0	0	0	3	水を出してください (2012/J/F/10/139)
デル	*内から外に移動する	18	3	0	6	2	0	7	会議室を出るとき、エアコンを消しましたか (2014R/J/A/23/196)
	居所から離れる	1	0	0	1	0	0	0	国を出てから、どのぐらいたちましたか (2010R/J/C/15/174)
	所属していたところから去る	12	11	0	1	0	0	0	大学を出てから、父の会社で働きました (2014R/J/A/16/141@)
	登場する	1	0	1	0	0	0	0	この俳優が出るから (2000R/J/B/18/210)
	出席・参加する	5	0	0	0	0	0	5	いろいろな会議に出なければなりません (2012/J/F/11/144)
	物が移動する	37	19	6	0	10	2	0	お湯が出ません (2014R/J/A/23/196)
	乗り物が発する	6	0	3	3	0	0	0	2時26分に東京を出て (2000R/J/B/14/158)
ナル	*実現・成立する	4	0	0	0	4	0	0	3人1組になってください (2006R/J/D/08/134)
	変わる	193	56	27	70	14	26	0	将来アナウンサーになりたいです (2000R/J/B/11/135)
	ある数値・時に達する	28	13	3	5	2	5	0	春になると花が咲きますよ (2000R/J/B/12/145)

ナル	ある機能をする	2	0	0	2	0	0	0	漢字はほんとうに日本語のいちぶになりました (2010R/J/C/16/184)
	恩恵を受ける	12	9	0	0	1	2	0	そちらにお世話になります が (2006R/J/D/10/178)
	否定を表す	210	93	0	26	0	0	91	大使館に行かなければなりません (2010R/J/C/15/172)
キク	*聴覚によって音・声を感じする	44	0	6	10	7	8	13	説明をよく聞いてください (2000R/J/B/09/106)
	傾聴する	156	14	6	6	82	27	21	それからCDを聞きます (2014R/J/A/06/052)
	言われたことに従う	1	1	0	0	0	0	0	お父さんもう3回ぐらい聞いたよ (2014R/J/A/25/219)
	答えを求める	163	4	2	4	143	7	3	わからなかったらまた聞いてね (2014R/J/A/25/221)
	作用・効果が現れる	1	0	1	0	0	0	0	薬を飲んだんですが効かないんです (2000R/J/B/16/180)
クル	*話し手の方に移動する	305	112	32	62	54	23	22	マレーシアから来ました (2012/J/F/01/004)
	話し手とともに移動する	15	8	0	0	7	0	0	わたしはミラーさんと日本へ来ました (2014R/J/A/05/042)
	物が話し手の方に移動する	13	6	0	7	0	0	0	マリアさんから来た手紙は机の上にあります (2014R/J/A/22/192)
	風・光などが話し手の方に移動する	15	0	0	1	8	0	6	海から大きいつなみが来て (2010R/J/C/16/182)
	補助動詞 ²	47	12	2	9	16	2	6	かばんを持ってきてください (2012/J/F/10/138)
ツクル	*製作・製造する	127	34	10	17	30	18	18	きょうは食事を作りません (2014R/J/A/17/148)
	工事する	2	2	0	0	0	0	0	そしてお寺を造ったり本を書いたりしました (2014R/J/A/23/203)
	栽培する	3	1	0	0	2	0	0	"野菜を作ったりしています (2014R/J/A/19/166)
	書類を作成する	9	5	0	0	1	0	3	資料を作ります (2014R/J/A/19/164)
	これまでなかったものを生じさせる	17	4	0	6	3	2	2	学校を作りたいです (2014R/J/A/25/212)
ハイル	*外から中に移動する	27	8	3	4	6	0	6	芝生に入らないでください (2000R/J/B/16/186)

ハイル	ある目的のためにその場に移動する	55	10	7	2	16	4	16	お風呂に入って10時に寝ました (2000R/J/B/09/114)
	組織の一員となる	12	8	1	3	0	0	0	専門学校に入りたいです (2000R/J/B/11/135)
	物の内部・内側に収まる	6	0	0	0	0	6	0	おにぎりにしゃげがはいつています (2014/J/E/12/096)
	登録する	10	0	0	10	0	0	0	マナさんはけんこうほけんに入っていますか (2010R/J/C/15/169)

¹延べ語数は多義項目の語義が明確に判断できる短文・長文のみを対象とした数である

²動詞の補助動詞として使われている用法である

個々の多義項目の提出頻度から、最も典型的に扱われている語義は多義語動詞66語の内、28語が中心義であるのに対して、35語は派生義であったが、その内12語は中心義さえ扱われずに派生義の語義のみで構成されている。なお、残りの2語である「ナク」と「ワル」は延べ語数の数が均等であったため、判断不可能なものとして分類した。この結果は、柳(2016)が分析している韓国の初級日本語教科書にみられた多義語動詞の扱いの結果と同様の傾向があり、多義語動詞がもつ本来の意味である中心義を学習の初級段階で見落としてしまう可能性が現行初級日本語教科書にもあると言えよう。一方、各教科書における多義語がもつ複数の語義はどのように提示されているかをその典型的な概念を図2⁽¹⁰⁾に示すと、教科書Cを除き、すべての教科書において中心義の出現頻度よりも派生義の語義が典型的に扱われていることがわかる。また、典型的に扱われている語義の共通度において6種に共通してみられた中心義は7語「アル/イク/オモウ/クル/スル/ツクル/オシエル」、5種が2語「アケル/イレル」であり、派生義においては6種が4語「アウ(対面する)/イル(動詞の連用形、居る)/ツカウ(物の用途)/モツ(所持・携帯する)」、5種が1語「トル(作り出す)」であった。この点からは、

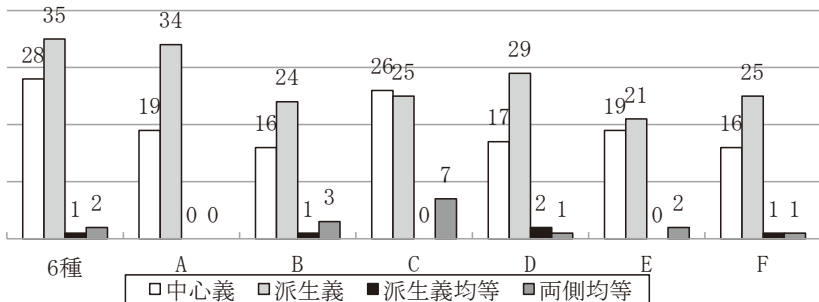


図2 各教科書の典型的な語義

6種の教科書にみられる多義語の語義がかなりばらついており、どの教科書を選択して学習するかによって、多義語の意味ネットワークは異なるはずである。例えば、語義の中心義が「物や体の一部である手などを上に移動させる」である「アゲル」は教科書によって典型概念が異なっており、教科書Fにおいては中心義のみが扱われているため、他教科書で扱っている派生義の意味・用法「授受表現や具体的にあることを示す」に接することが出来ないまま、初級レベルの学習を終了してしまう。また、教科書ごとに提示される語義の意味・用法が同様であっても、多様なコロケーションによる運用力が異なる。複数の語義をもつ多義語「トル」は「作り出す・ある形にしてとどめる」という意味・用法として6種の教科書で扱われているが、その意味・用法をさらに下位分類すると、「写真を写す:① 写真を撮ります (2014R/J/A/06/051) ②少しはれていますね、レントゲンを撮りましょう (2000R/J/B/16/179)」「あるものを原料にして何かを作り出す:かたかなは 漢字のいちぶをとってつくりました (2010R/J/C/17/198)」「書き留める:先生のはなしをきいて メモをとってください (2010R/J/C/16/184)」などの意味・用法がみられ、頻繁に提示されているコロケーションは「写真を撮る」の「トル」であり、その他の「レントゲン」「漢字のいちぶ」「メモ」などは偏った頻度でみられるものである。言い換えれば、教科書によっては学習者間で語彙習得の情報量に差が出る可能性がある。秋元(2014:16)は多義語の指導において教授者が気をつけることを次のように述べている。「教授者の立場で考えても、複数の機関で初級の学習者を指導する場合や、異なる初級教科書で学習した学習者が混在した初中級、中級以降のクラスで指導する場合には、使用する(使用してきた)教科書によって学習者が習得済みの用法が異なることに注意を払う必要がある。」しかし、日本語の指導においては注意を払うところは語彙の意味だけではないため、教師側が常に意識をもちながら多義語の指導を行うことは難しいことであり、さらに教える側の個人差やどれだけの興味をもっているかによる前提条件が必要であろう。このような点を踏まえて考えると、最も相応しいのは教科書に構成されている語彙の体系性を場面と状況に合わせて、その関係性の高い語義を優先的に網羅して提示することが望ましいと考えられる。

4.3 各教科書における中心義と派生義の提出順序について

6種の教科書における多義語の中心義と派生義がどのような順序で提出されているかを考察するために、各教科書ごとに多義語66語の中心義と派生義がともに扱われているものや中心義が提出されておらず派生義のみが2つ以上であるものを対象に分析を行い、これらの提出順序を4つのパターンに分類した。まず、パターン①は中心義の提出順序が派生義より早くみられるもの(以下、中心義優先)であり、パターン②は中心義の提出順序よりも派生義の方が早くみられるもの(以下、派生義優先)である。その他にパターン③は中心義と派生義が教科書の同一

の課で提出されているもの（以下、均等）であり、パターン④は中心義が提出されずに派生義のみが複数みられるもの（以下、派生義内優先）である。

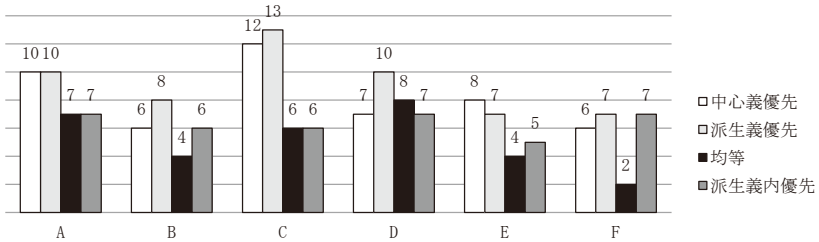


図3 各教科書の中心義と派生義の提出順序

図3は上記の基準に従い、多義語の中心義と派生義を分類した提出順序の結果である。各教科書のパターンごとに示した語数をすべて足すと図1に示した多義語動詞の異なり語数になる。派生義よりも中心義が優先となっているものは教科書Eのみであり、教科書Aを除いて4種の教科書が派生義優先となっているが、それほど大きい差ではない。それに対し、均等であるものは各教科書において中心義と派生義が同一の課で扱われている点から、意味的に近ければ近いほど、意味・用法を一般化して提示する傾向があると考えられる。「イク」を例にとってみると、中心義である「人・動物・乗り物が移動する」と派生義である「動作者が話し手とともに移動する/学校の生徒や軍隊の兵士などになる」が場所格を相互的に使用可能であることや初級学習者にとって多義語の意味を細かく分けて覚えるよりも統合した語義の中心となるもののみを覚えれば、中心義に近い派生義は学習しやすくなるのではないだろうか。一方、6種の教科書における提出順序の共通度を図4に示すと、唯一6種の教科書に共通して提出されている語は派生義内優先の1語「イウ」であり、5種が3語「クル（中心義優先）」「キク（派生義優先）」「トル（派生義内優先）」、4種が7語「ツクル（中心義優先）」「アル/ツカウ/ハイル/ワカル（派生義優先）」「イク（均等優先）」「ナル（派生義内優先）」を占めている。グラフからわかる特徴としては、多義語の提出順序が共通すればするほど、日常生活における使用頻度が高い多義語であることや初級レベルにお

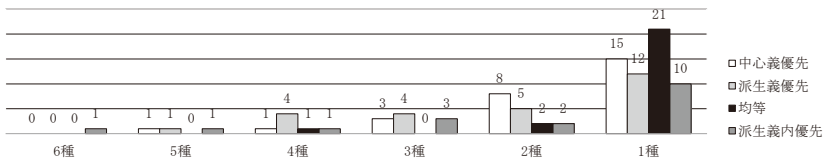


図4 多義語の提出順序の共通度

いても欠かせない語義であることが推測される。それは【表4】に示している6種の教科書の共通多義項目数の異なり語数18語と比較してみれば、18語の内「アウ」を除いてすべての多義語が2種以上のいずれかのパターンに入るからである。以下に、多義項目の詳しい提出順序を各パターンごとに取り上げると、【表6】のようになる。

【表6】多義項目の提出順序

*多義語の中心義

動詞	多義項目	教科書の用例	各教科書の提出順序 (課)					
			A	B	C	D	E	F
ツクル	*製作・製造する	きょうは食事を作りません (2014R/J/A/17/148)	15	9	3	3	2	3
	工事する	そしてお寺を造ったり本を書いたり しました (2014R/J/A/23/203)	23	-	-	-	-	-
	栽培する	野菜を作ったりしています (2014R/J/A/19/166)	19	-	-	9	-	-
	書類を作成する	資料を作ります (2014R/J/A/19/164)	18	-	-	9	-	11
	これまでなかったものを生じさせる	学校を作りたいです (2014R/J/A/25/212)	15	-	16	9	18	11
キク	*聴覚によって音・声を感知する	説明をよく聞いてください (2000R/J/B/09/106)	-	9	12	3	2	10
	傾聴する	それからCDを聞きます (2014R/J/A/06/052)	6	2	3	1	1	3
	言われたことに従う	お父さんもう3回ぐらい聞いたよ (2014R/J/A/25/219)	25	-	-	-	-	-
	答えを求める	わからなかったらまた聞いてね (2014R/J/A/25/221)	23	13	10	1	6	12
	作用・効果が現れる	薬を飲んだんですが効かないんです (2000R/J/B/16/180)	-	16	-	-	-	-
デル	*内から外に移動する	会議室を出るとき、エアコンを消しましたか (2014R/J/A/23/196)	23	-	11	12	-	6
	居所から離れる	国を出てから、どのぐらいたちましたか (2010R/J/C/15/174)	-	-	15	-	-	-
	所属していたところから去る	大学を出てから、父の会社で働きました (2014R/J/A/16/141@)	16	-	11	-	-	-
	登場する	この俳優が出るから (2000R/J/B/18/210)	-	18	-	0	-	-
	出席・参加する	いろいろな会議に出なければなりません (2012/J/F/11/144)	-	-	-	0	-	11
	物が移動する	お湯が出ません (2014R/J/A/23/196)	23	16	-	12	13	-

デル	乗り物が出発する	2時26分に東京を出て (2000R/J/B/14/158)	-	10	11	-	-	-
ダス	*内から外に移動させる	れいぞうこからビールをださないで ください (2010R/J/C/12/137)	23	-	12	-	-	-
	体の一部を前に移動させる	窓から手や顔を出さないでください (2000R/J/B/16/186)	-	16	-	-	-	-
	客などに飲食物や金品を供する	"じゃあ痛みどめの薬を出しますね (2000R/J/B/16/184)"	-	16	-	-	-	-
	提出する	もう宿題を出しましたか (2000R/J/B/11/136)	16	11	-	-	-	-
	発送する	お母さんにてがみをだしますか (2010R/J/C/08/087)	19	-	8	4	-	-
	命令・指示などを与える	クイズを出しましょう (2006R/J/D/11/193)	-	-	-	11	-	11
	ものや機械などの中や表面からものが現れる	水を出してください (2012/J/F/10/139)	-	-	-	-	-	10

5. おわりに

本稿では、初級日本語教科書に扱われている多義語動詞がどのような語義として頻繁に提示されているか、現行日本語教科書6冊を取り上げ、3つの観点（一点目は多義語動詞の量的状況、二点目は語義のプロトタイプ性、三点目は語義の順序性）に焦点をしばってその分析を行った。その結果、以下の点が明らかになった。

現行初級日本語教科書における多義的意味・用法が複数みられた多義語動詞は66語であり、それに対する多義項目は211項目であった。多義語動詞66語の内、多義項目が最も多かった多義語は「アル」「イウ」「スル」「ダス」「デル」であり、6種の教科書に共通して提示されている多義項目は多義語18語「アウ/アル/イウ/イク/イル/オシエル/オモウ/キク/クル/スル/ツカウ/ツクル/トル/ハイル/ミル/マツ/モツ/ワカル」の内、中心義が10項目、派生義が20項目であった。

いずれの教科書にも共通してみられる多義語動詞18語は初級レベルにおいて欠かせないものであり、以下のように分類することができる。

- ①行為動詞「スル/ツカウ/ツクル/トル/マツ/モツ/アウ」
- ②状態動詞「アル/イル」
- ③知覚動詞「キク/ミル」
- ④伝達動詞「イウ/オシエル」
- ⑤移動動詞「イク/クル/ハイル」
- ⑥思考動詞「オモウ/ワカル」

6種の教科書において最も典型的に取り扱われている多義語の語義は中心義が28語であり、派生義が35語である。中心義が典型的であった28語の内「アル/イ

ク/オモウ/クル/スル/ツクル/オシエル」の7語が6種の教科書に共通しており、「アケル/イレル」の2語が5種の教科書に共通している。それに対し、派生義が典型的であった35語の内、6種の教科書に共通している多義語の派生義は「アウ(対面する)/イル(補助動詞、居る)/ツカウ(物の用途)/モツ(所持・携帯する)」の4語であり、5種が「トル(作り出す)」であった。この点から、6種の教科書に共通する派生義の数はごく一部であり、そのほとんどがばらついているため、教科書による多義語の習得程度は異なることが予測される。

中心義と派生義の提出順序については、柳(2016)が「中心義よりも派生義の方が早い段階で出現される可能性が高い」と述べているのと同様の傾向を示しているが、提出順序の共通度においては生活言語に近い多義語であるほど提出順序が共通していることが新たに明らかになった。

「イウ」6種：派生義内優先

「クル」5種：中心義優先

「キク」5種：派生義優先

「トル」5種：派生義内優先

「ツクル(中心義優先)」4種：中心義優先

「アル/ツカウ/ハイル/ワカル」4種：派生義優先

「イク」4種：均等

「ナル」4種：派生義内優先

現行初級日本語教科書における多義語の使用状況の結果は、ごく一部の日本語教科書のみを対象としているため、どこまでが一般化できるものであるかは、初級教科書や上のレベルをさらに加えればその結果が明確になると考えられる。一方、今回の調査結果は、既存の先行研究では取り上げていない多義項目の意味・用法をはじめ、6種の延べ語数、各教科書の延べ語数、共通度、提出順序、教科書例などをさらに細かく分類して、日本語学習者や日本語教師が参考することができるように多義語動詞のリストを作成した。また、多義語動詞「ダス」と「デル」の多義項目に対しては『基本動詞ハンドブック』の記述を援用し、語義のレベルを分けることができた。今後は、多義語の語義に対するレベルづけの有効性についても考察を続けたい。

註

- (1) アルク(2008)「日本語学校アンケートによる使用教科書ランキング」『月刊日本語』2008.12月号.p.23
- (2) 「日本語教師にアンケートしました」http://kyoan.u-biq.org/enq_kyoukasho.html, 2016.05.30日最終アクセス)
- (3) 正規表現の例「上がる」:《(あが¹上が²挙が³揚が⁴騰が⁵) [ら-ろっ]》
- (4) 2014R/は出版年度、J/は国内出版物であること、A/は教科書名、1~10/は学習課、001@/はページなどを表す。

- (5) 3・4級語彙の動詞235語は敬語、漢語サ変動詞、複合動詞を除き、同音異義語を一つの語として統合した語数である。
- (6) 残りの3語「オロス」「ススメル」「ワル」は、2級語彙に当たるものである。
- (7) 『基本動詞ハンドブック』では多義語動詞の各語義を初級から上級まで区分して語義レベルを示している。
- (8) D教科書は、自己紹介、誘い、買い物、パーティー、病院、訪問、面接、道、趣味、日本の印象、出身国のこと、旅行、将来の夢、食べ物、行事、教育などを幅広く網羅している。
- (9) 初級日本語教科書において、現代社会に相応しくない意味・用法をもつ語義「わたしは父にでんぼうを打ちました (2010R/J/C/08/091)」が提示されている。
- (10) 派生義均等:ある多義語の典型的な概念が複数の派生義である場合、延べ語数が均等であったもの。
 両側均等:ある多義語の典型的な概念が中心義と派生義の両側において均等にみられたもの。

参考文献

- 秋元美晴 (2014)「日本語教科書における多義語の使用実態—きめこまかい日本語語彙学習シラバス作成に向けて—」『平和文化研究所共同研究プロジェクト助成研究報告』恵泉女学園大学,1-32
- 国際交流基金・日本国際教育支援協会 (2007)『日本語能力試験 出題基準改訂版』凡人社
- 近藤裕子 (1996)「日本語教育における多義語の研究—現行日本語教科書における扱いについて—」『大正大学大学院研究論文第20号』大正大学出版部,287-298
- 鷺見幸美 (2015)「中国語を母語とする日本語学習者による多義動詞の使用—KYコーパスに見られる使用語義の広がり—」『言語文化論集』36 (2), 81-96
- 早津恵美子 (2010)『初級教科書の語彙分析—動詞編 (1) 語彙的な性質—』東京外国語大学大学院総合国際学研究院
- 柳悟聖 (2015)「日本語学習者の語彙習得について—プロトタイプ理論の観点から—」『国学院大学日本語教育研究第6号』,17-36
- 柳悟聖 (2016)「日本語教科書における多義語動詞の扱いについて—韓国高等学校の日本語教科書『日本語I』を中心に—」『国学院大学院紀要46輯』

日本語教科書

- 国際交流基金 (2014)『まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 かつどう』三修社
- スリーエーネットワーク (1998)『みんなの日本語 初級I 第2版本冊』スリーエーネットワーク
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター (1995)『初級日本語 上 新装改訂版』凡人社
- 西口光一 (2012)『NEJ: A New Approach to Elementary Japanese vol.1 テーマで学ぶ基礎日本語—くろしお出版』
- 文化外国語専門学校日本語科 (2000)『文化初級日本語I テキスト 改訂版』凡人社
- TJ]東京日本語研修所 (2006)『改訂版 毎日使えてしっかり見につく はじめよう日本語初級1メインタキスト』スリーエーネットワーク

辞典

- 国立国語研究所 (2009～現在)『基本動詞ハンドブック』(<http://verbhandbook.ninjal.ac.jp/>)
- 日本語教育学会 (2005)『新版日本語教育辞典』大修館書店,271-272
- 松村明 (1988)『大辞林第三版 —Dual大辞林 [Web版]—』三省堂 (<http://dajirin.dual-d.net/>)
- 森山新 (2012)『日本語多義語学習辞典 動詞編』アルク